



「足元を固め、飛躍へ向かう年」とし、 経済対策と沖縄振興計画の総仕上げへ

沖縄県知事 仲井眞弘多

今年度は、厳しい国内外の経済情勢を踏まえた政府の対策に連動し、経済対策を集中的に実施するとともに、残り三年となる沖縄振興計画の総仕上げに向け、ラストスパートをかけていきます。さらに将来あるべき沖縄の姿とその実現への取組みの基本方向を明らかにします。そして次の九つの施策を重点的に進めます。

一 自立型経済の構築に向けた

産業の振興と雇用の創出・確保

観光・リゾート産業では、大都市圏・東アジアへのPRや国際会議等の誘致促進、地域の優位性を生かした観光まちづくりを推進します。情報通信関連産業では、IT津梁パークの整備、OSS（オープンソースソフトウェア）開発ビジネスの支援を推進します。農林水産業では、ゴーヤー等戦略品目を中心とした拠点産地形成、サトウキビ等の生産供給体制の強化を図るとともに、多様な担い手の確保に努めます。製造業では、農商工連携等を図る人材の育成や、販路拡大を推進します。また、中小企業の資金繰り円滑化を図るとともに、企業訪問等のトップセールスを積極的に展開します。雇用については、政府の対策に連動し、集中的に雇用対策事業を実施するとともに、「沖縄県産産業・雇用拡大県民運動」を展開します。

二 米軍基地問題の解決促進、跡地対策

及び戦後処理問題の解決促進等

米軍基地の整理縮小や日米地位協定の見

直し、事件・事故の防止等を日米両政府に強く求めていきます。嘉手納飛行場以南の施設・区域の返還については、政府へ現行制度の検討も含めたきめ細かな対応を求めていきます。また、戦後処理問題の解決促進のため、旧軍飛行場用地問題の解決促進、不発弾処理事業の拡充強化に向けた取組みを進めます。

三 科学技術の振興と

国際交流・協力拠点の形成

科学技術の振興では、先端バイオ研究や臨床研究を推進し、沖縄科学技術大学院大学の周辺整備等を強化します。国際交流・協力拠点形成については、海外との青少年の相互交流を促進し、平和発信事業の充実を図ります。

四 環境共生型社会の形成

地球温暖化対策を強力に推進し、赤土等流出防止対策、サンゴ礁保全対策等を進めます。また、快適で潤いのある生活環境基盤整備のため、市町村の景観計画策定促進、全島緑化等を推進します。

五 健康福祉社会の実現と

安全・安心な生活の確保

保育所入所待機児童の解消、地域における子育て支援策の充実に取り組むとともに、健康作り運動や、新型インフルエンザ対策等各種予防対策を推進します。また、犯罪被害者等の保護・支援や消費者相談をはじめとする各種窓口の機能強化を図ります。

六 多様な人材の育成と文化の振興

全国学力・学習状況調査等を踏まえた学力向上対策や、青少年の健全育成を推進します。沖縄国際アジア音楽祭、二〇〇九沖縄伝統空手道世界大会を開催するとともに、平成二十二年度全国高等学校総合体育大会の本県開催に向けた取組みを進めます。

七 持続的発展を支える基盤づくり

那覇空港については、滑走路増設へ向けた施設計画段階における取組みと、国際物流事業の核となる新貨物ターミナルの整備・管理運用を促進します。また、道路橋の長寿命化修繕計画の策定、都市モノレールの延長調査等を実施し、渋滞緩和や公共交通の利便性向上に取り組めます。

八 離島・過疎地域の振興

島々ごとの自然・文化などの特性を生かした地域づくり促進、ユニバーサル・サービス確保に努め、若者の定住促進、交流人口増加を図ります。交通・生活環境基盤等の整備を図るとともに、医師確保対策の充実に努め、ドクターヘリ等による救急搬送体制を構築してまいります。

九 行財政改革の推進

事業の選択と集中、財政の健全化等、行財政改革を一層加速させるとともに、新たな行財政改革プランの策定に取り組みます。また合併市町村の財政支援等に努め、引き続き市町村合併を推進します。